

「**ま**いたに」と「**め**ふ」をつなぐ、米谷自治会広報誌

マメダヨリ

どうする？
コロナ禍の避難



No.28 / 2020 秋号

どうする？



コロナ禍の避難

避難先で感染しないために



新型コロナウイルス感染症が収まらず、同感染症と共存せざるをえない「ウィズ(with)コロナ」の時期が、ワクチンの開発および接種により、感染の予防法が確立されるまでは暫らく続きます。兵庫県でも、「次なる波に備えながら、生活の日常化と経済活動の回復を目指す、新しい生活様式「ひょうごスタイル」の推進が提唱されています。

このような状況でも自然災害はやって来ます。これからは自然災害と感染症の“複合災害”に備えておく必要があるといえるでしょう。

7月の梅雨末期の豪雨では、九州各県や岐阜県・長野県で河川氾濫・土砂災害等で甚大な被害が発生しています。7月8日明け方には宝塚市内でも60～80mm/時間の豪雨があり、大雨・洪水警報や土砂災害警戒情報が出され、「避難準備・高齢者等避難開始情報」が発令されました。

これからの9、10月も秋雨や台風などで「避難情報」が発令される可能性があります。避難情報が発令される状況になった場合、危険な(安全でない)場所にいる人は避難することが原則です。**空振り**を恐れず**避難**しましょう。

step 1 事前準備



①市ホームページや宝塚生活ガイドブックの防災マップなどで、自宅のハザード情報を把握し、近隣の土砂災害地域、浸水地域や避難の場合のルートなどを確認しましょう。

②宝塚市安心メール(ひょうご防災ネット)、市内降雨情報、台風進路情報、FM防災ラジオなどで最新の災害情報入手に心掛けましょう。



昭和15年(1940年) 紀元2600年記念行事の貴重な写真。当時は法被ではなく軍服を着用し、旭日旗も飾られていた。(米谷青年團ホームページより引用)



昭和61年(1986年) 宝塚まつり 昭和62年(1987年) 売布神社駅前

今回は「米谷・清荒神地車保存会」の会長・久保雅義さんに、米谷だんじりの歴史や魅力について語っていただきました。

毎年恒例、秋季例大祭の主役を担う『だんじり』。もともとは売布神社の氏子衆が、五穀豊穡のご加護を祈願するために建造したといわれています。その歴史は古く、今から約300年前、元禄年間(江戸時代中期)の作であると推定されています。内部に設置される鐘も「慶応四戊辰六月」と銘が刻まれた年代物。お隣子や綱の曳き方などは地区ごとに違い、とりわけ米谷だんじりは70年ほど前までは「走りだんじり」とも称され、売布神社に向かって一気に山中を駆け登る、勇猛果敢な宮入で近隣ではあまりにも有名だったと伝えられています。

この由来あるだんじりを郷土の文化財として永久に保護管理し、



米谷だんじり いま、むかし

米谷・清荒神地車保存会 会長
久保 雅義さん

次世代に伝承するため、昭和48年(1973年)に「米谷・清荒神地車保存会」は設立されました。4代目会長となった久保さんは「主役はあくまでも青年團。僕たちは裏方だから。」と、青年團OBの「よつな会」の会員として他の会員さん達と共に、警察署への届出や米谷財産区への出資交渉など、多岐に渡って青年團をサポートしています。

久保さんは、「生まれも育ちも米谷」という生粋の米谷っ子。子どもの頃はだんじり小屋が家の近くにあってこともあり、「お祭りは自身の一部」になっていたそう。仕事も都合がつきやすい職種を無意識に選んでいたのだとか。昭和61年(1986年)の宝塚まつりの懐かしい写真を見ながら「この頃は阪神競馬場までみんなでだんじりを曳いて行ったんや」と当時を振り返り、「やっぱりお祭りはええね。ここに生ま

step 2

いざ、避難

指定避難所(売布小学校)へ行くことだけが避難ではありません。次のような避難方法があります。

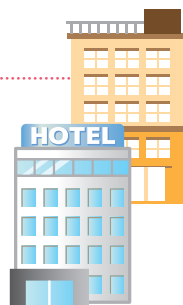
在宅避難

安全な場所にいる場合には避難所に行く必要はありません。念のため、水、食料、懐中電灯、ラジオ、携帯電話用充電バッテリー、カセットコンロなどを備えておきましょう。



分散避難

避難所の過密状態を防ぐため、可能な場合には安全な親戚・知人宅やホテルへ避難することも考えましょう。(突然の訪問では準備ができない場合もあるので、日頃からのお付き合いや早めの相談を心掛けましょう。)



水平避難

避難所に避難するときは、通常の避難グッズと併せて感染症対策として、マスク、消毒液、体温計、手洗い用せっけん、スリッパ、ウエットティッシュなどを持参ください。

避難所では以下のことに気を付けましょう。

- ①定期的に健康状態についてチェックしましょう
- ②頻繁に手洗いをしましょう。特に手すりやドアなどの共用部分に触れた時などは念入りに。
- ③マスクを持参・正しく着用し、咳エチケット等基本的感染対策を徹底しましょう。
- ④換気に心掛け、人との距離をとる等の密閉・密集・密接の「3密」を避けましょう。



垂直避難

夜間、すでに豪雨や強風、避難路が水没しているなどで避難が困難な場合には、自宅や近くの頑丈な建物のできるだけ高い階に避難しましょう。(土砂災害の危険もあるので山側の部屋は避けましょう。)



高い階、山と反対側へ!

車での避難の注意点

豪雨や強風時の移動は、車も含めて危険です。車での避難中に災害に遭われた報告も少なくありません。避難行動中の土砂災害、道路浸水やアンダーパス水没災害等もあるので、日頃から避難路について調べておきましょう。また、車中泊をする場合にも周囲の状況を十分に確認すると共に、時々身体(特に足)を動かしエコノミー症候群にならないように気をつけましょう。



指定避難所が開設される場合は、米谷会館も開ける予定です。ご利用ください。



豪華絢爛な龍虎の刺繍が施された見送り幕。特徴あるその形は「宝塚型」と呼ばれ、中に詰め物を入れ、ふっくら丸く優美さを強調。

れてきて良かった!とおっしゃいます。昔ながらの米谷の細い道を拍子木の合図で皆で息を合わせ、ギリギリのところをすり抜けていく。力だけではなく、長年の勘や仲間との信頼関係。いろいろな要素が上手にかみ合ってこそその感動がそこにあるといえます。以前の「男の祭り」というイメージも、今では多くの女性も参加、華やかさを添えています。だんじり本体もコマ(車輪)や持ち手に工夫を凝らすなど、時代の変化に合わせて進化しているようで、「お祭りの時には、ぜひ触ってみて!」とのこと。一方、宝塚市内で唯一、東・西2台のだんじりを保有する米谷地区は、曳き手の減少が深刻な問題に。「子どもたちには、怖がらずに、どんどん来て、だんじりに触れて欲しい。そして『自分のもの』のように愛おしく思って次の世代に引き継いでもらいたい。」と熱弁されていました。

米谷墓地管理委員会からのお知らせです



2015年から米谷墓地の整備を進めてきました。墓地の測量による全区画の図面を書き起こし、使用者台帳の作成をしました。さらには委員会規約と使用規定を制定して使用者の皆さんに確認しました。現地では66箇所の無縁墳墓の撤去と更地化を実施し、駐車場・水汲み場・ごみ置き場を改良。きれいに整備できました。2016年からの募集では新加入が32家あり、現在計328家のご使用なされています。墓地全体の整備が進み、現在委員会用地の余裕がございます。墓地に関するご相談や、将来ご使用をお考えの方は下記までお問い合わせください。

米谷墓地管理委員会事務局 横山 浩
090-5253-9219

●2020年度 役員紹介

米谷自治会	会長	瀧川 さとみ	
	副会長	片山 健一	
	会計	平林 桂子	
	事務局	大崎 崇司	
	監事 (自主防災会会長)	中谷 一三	
	監事	池田 美智子	
	顧問	横山 浩	
	組長	1組	和田 清美
		2組	堀竹 秀子
		3組	横山 浩
		4組	高福 誠
		5組	河埜 繁宏
		6組	藤田 美知子
7組		上床 里美	
8組		梁野 治雄	
9組		北端 大輔	
10組		岡本 裕美	
11組	久保 隆生		
12組	鈴木 洋子		

米寿会	会長	小濱 和晴
	副会長	高地 幸子
	会計	古野 佐恵代
	会計監査	津田 裕子
青年團	團長	丸山 巧太郎
	副團長	石山 健太 金子 美咲
	会計	森 はるほ 水野 龍
ラビット 子供会	代表	内田 朝子
	会計	朝熊 紗弥香
	地区代表	松崎 智佳子
ラッキー 子供会	代表(書記)	生見 順子
	会計・愛護部副代表	和田 純子
	愛護部代表	長野 亜希子
米わかば 子供会	代表	清水 敦子
	会計	柴田 恭子
	書記	新 愛
米谷会館		岡野 克士

こんな時代だからこそ 地域内の繋がりを!

米谷自治会 会長 瀧川 さとみ



「会長ってどんなことをするの?」と聞かれることがあります。主に宝塚市や各方面の団体と連携し、情報等を自治会を通じて会員の皆さんにお知らせしたり、米谷会館運営委員会(米谷自治会役員と米寿会、青年團、ラビット・ラッキー・米谷わかばの各子供会)のお手伝いをしています。

今年は、新型コロナウイルスのため、「マスクの着用」「消毒手洗い」「三密にならないように」など、様々な事への配慮が必要となり、普通の生活のありがたさが身にしみました。会長として断腸の思いで、防災フェスタや親睦研修会旅行中止の判断もしました。不安な日々が続きますが、一日も早く安心・安全な生活を送れるよう、コロナ収束(終息)を願うばかりです。組長さん、班長さん、よろしくお祈りします。一緒に頑張りましょう!

※米谷会館運営委員会は上記役員のうち、組長を除くメンバーで構成されます。

TOPICS 【トピックス】

いつもは、各団体の話題(活動報告)を掲載していますが、ほとんどの活動がコロナで中止に追い込まれ、今回は改めて各団体について、ご案内と参加募集をいたします。

米寿会(米谷老人クラブ)

現在57名の会員で、年2回の社会見学旅行や売布神社の清掃活動などをはじめ、カラオケ教室、歩こう会、ゲートボール、ラジオ体操、いきいき百歳体操のクラブ活動といった多彩な活動を行っています。

入会および各クラブ活動への参加者を広く募集しています。

お問い合わせは **小濱会長** (自宅) **0797-87-7818**
(携帯) **090-5674-6529**

米谷青年團

中学1年生から20代後半の社会人といった幅広い年齢層の団員が、米谷盆踊り大会や秋季例大祭でのだんじり曳行といった行事の準備から運営、片付けまでの活動を行います。さらに子供会との交流や青年團内のイベントなども通して、社会経験を積むことができます。現在、**仮入團も含め団員を募集中!!**お気軽にお問い合わせを。

お問い合わせは **丸山團長** (携帯) **080-4245-9177**

子供会

売布小学校に通学する児童で構成され、エリア毎に次の3つの子供会があります。

【ラビット子供会】米谷1丁目(全員加入)

【ラッキー子供会】米谷2丁目(全員加入)

【米谷わかば子供会】売布3丁目と売布2・4丁目の一部(任意加入)

それぞれ独自に清掃活動や再生資源回収活動を行っています。青年團や米寿会との協働活動や盆踊りでの出店、だんじり曳行への参加、新入生や卒業生の歓送迎会など幅広く活動しています。

米谷わかば子供会では、新規加入者を募集しています。

お問い合わせは **maitaniwakaba@yohoo.co.jp**



米谷自治会

米谷1・2丁目、売布1丁目の一部、売布2・3・4丁目、売布東の町の一部および売布山手町の一部の地域の皆さんで組織する自治会です。活動、その他の詳細はホームページをご覧ください。

米谷自治会ホームページ **http://maitani.org/**

現在自治会では、3カ所で行っている**売布小児童の下校時の見守りボランティアを募集しています。**月2回×30分程度の時間です。

参加ご希望の方は各組長経由で自治会あてにご連絡いただくか、メールで直接お申し込みください。

米谷自治会へのメールは **mail@maitani.org**



米寿会・米谷青年團・各子供会と米谷自治会は、米谷会館で月1回会合を持ち、お互いの情報交換と共有を行っています。

編集後記

中華人民共和国湖北省武漢市で発生した原因不明の肺炎、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)。拡大防止対策として、兵庫県など一部地域では4月7日、全国では4月16日に緊急事態宣言が発令されました。米谷自治会でも毎年恒例の多くのイベントを自粛し、このマメダヨリも夏号の発行を見合わせました。5月25日の緊急事態宣言解除後、約半年ぶりの発行となる今号では、新しい生活様式を踏まえた防災特集を組むとともに、時代と共に変わりゆく「だんじり」についてのお話を伺うなど、さまざまな局面で“変革の時期”を感じる号となりました。2020年8月現在、感染拡大の第2波が懸念され、大変不安ですが、また皆さんと一緒に盆踊りや親睦研修旅行など、通常の行事が一刻も早く再開できることを願っています。

米谷自治会広報誌 **マメダヨリ** 令和2年(2020年)秋号(No.28) 3・6・9・12月1日発行(季刊)

編集発行:米谷自治会 広報委員会(米谷会館内) 〒665-0831 兵庫県宝塚市米谷2丁目17-23 TEL&FAX 0797-87-3727
ホームページ: <http://www.maitani.org> メールアドレス: mail@maitani.org 発行責任者: 瀧川 さとみ
マメダヨリの表紙をあなたの作品で飾ってみませんか? 自薦・他薦は問いません。応募はメールまたは組長さん・班長さんまで!

自治会の
ホームページも
ご覧ください

